

やまなし 県議会 だより



長崎幸太郎知事の就任後初の議会となった2月定例県議会

二月定例会の概要

長崎幸太郎知事の就任後初の議会となる平成三十一年二月定例会を、二月二十六日から三月十五日までの十八日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で長崎知事は、「『停滞から前進へ』が選挙戦において私が掲げたスローガンである」と述べ、「停滞感、閉塞感が漂う現状を大胆に改革し、もつと豊かさを実感できる山梨県にする。そして、昨日より今日が良くなったという『実感』、今日より明日が良くなるという『確信』が持てる希望と元氣と活力のある山梨県を創っていく。これが、選挙戦を通じて県民の皆様に対して約束した内容であると同時に、多くの県民の皆様

に共有された思いである。私に託していただき

いたこの強い思いに真摯に向き合い、何としても県政を前進させていく、その強い覚悟で県政運営に取り組んでいく」と決意を示されました。

知事の説明を受けて、三月四日から七日の四日間、代表・一般質問を行いました。三月八日、十一日に教育厚生、農政産業観光委員会、三月八日、十二日に総務、土木森林環境委員会を開催し、付託議案、所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の三月十五日には、議員提案した山梨県県産木材利用促進条例や地下水に着目した法定外税導入に関する政策提言、また、総額四千三百四十八億五百六十六万五千円の平成三十一年度一般会計当初予算案など、七十二案件を可決、同意しました。



平成三十一年二月定例県議会 河西敏郎議長閉会の挨拶要旨

二月定例会も、全ての案件を議了し、ここに滞りなく閉会の運びとなりました。これもひとえに、議会運営に対します各位の協力のたまものと感謝いたします。

さて、私も議員にとりまして任期最終の定例会を終えました。今任期中を顧みますと、二

ぎないという批判に堂々と反論できよう、また、基本条例の実効性を高めるため、議会改革を緩めることなく、区割りの見直し、政策条例の制定や政策提言、また、開かれた議会の推進などを積極的に進めてきたところであり、申すまでもなく、議会改革は県民の福祉向上のための

元代表制の中で県議会のあるべき姿を示す「議会基本条例」策定に向けた議論をスタートさせ、熱心な議論を得た上で条例を制定、その後、県民生活の向上と地方自治の実現を目指し、不断の努力をしてまいりました。議会は知事の単なる承認機関に過

手段であつて目的ではありません。改選後もこの取り組みはさらに加速していくはずであります。さて、このたび、第六十二代となり、長崎知事が誕生いたしました。長崎知事に対する県民の期待は大きく、掲げられたさまざまな公約の方向性を速やか

に県民に示されますようお願いいたします。ところで、今回知事から提案された平成三十一年度の当初予算は、義務的経費が中心の骨格予算でありましたが、知事は、財務省の主計員であった経験から、想像する以上に本県財政が硬直化し、いかに厳しい状態に陥っているかが、うかがい知れたはずであります。この際、知事の公約実現のため、しっかりと、事業の統廃合を徹底し、職員の人員配置についても、戦力の確保のため、聖域をつくらず、見直しを図るべきであります。また、改革には、必ず反対が付きものであります。何ら臆することなく、強い意志で、自らを信じ、諸課題に取り組まれることを願うものであります。結びに、議員並びに知事を初め執行部各位には、ますます御健勝で県政伸展に御尽瘁賜りますようお願い申し上げます。

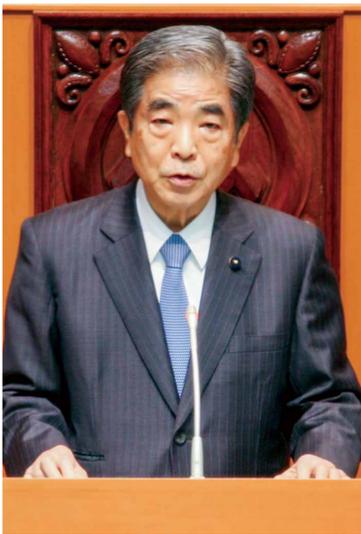


2月定例県議会では、3月4日から7日の4日間にわたり、代表、一般質問が行われました。各議員の質問項目は次のとおりです。

代表質問

- 県政運営の基本姿勢
- 今後の財政運営
- 東京都と山梨県の連携
- リニア中央新幹線の新駅と周辺整備
- 中部横断自動車道及び新山梨環状道路
- 地場産業の振興
- 医療・介護立県構想
- 大規模災害・震災への対応
- 企業の本社機能の誘致
- 総合技術場の整備
- 富士山登山鉄道
- クレー射撃場と五十メートル屋内プールの整備
- ミネラルウォーター税の導入
- 児童虐待及びDV
- 犬猫の殺処分ゼロ

自民党誠心会 臼井 成夫



- 人口減少対策
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み
- 富士山登山鉄道
- 自殺防止対策の推進
- 国民健康保険財政の健全化等
- ごみの不法投棄対策
- 観光産業の振興
- スマート農業の推進
- 新たな御坂トンネルの整備
- 教育行政に対する知事の関与
- 少人数学級の推進
- 教員の負担軽減
- 国際バカロレアの推進
- 交通死亡事故抑止対策の推進
- 山岳遭難防止対策等

自民党誠心会 白壁 賢一



チームやまなし 久保田 松幸

- ボランティア活動の推進に向けた取り組み
- アルコール健康障害対策
- ひきこもり対策
- 県産材の需要拡大に向けた取り組み
- 野生鳥獣の捕獲従事者の確保育成
- 若者の県内就職の促進
- 外国人観光客の受入環境の整備
- 地域の観光資源を生かした周遊・滞在型の観光振興
- 建設業における担い手不足解消に向けた取り組み
- 緊急輸送道路における橋梁耐震化の取り組み
- 空き家対策
- 本県スポーツ選手の競技力向上
- 教員のメンタルヘルス対策
- 高齢運転者に対する交通事故防止対策



リベラルやまなし 飯島 修

- 知事政治姿勢
- 配偶者等からの暴力の根絶に向けた取り組み
- 県における働き方改革の取り組み状況
- がん対策の推進
- 認知症対策の取り組み
- 子どもの貧困対策の推進
- ごみの不法投棄
- 橋梁の維持管理
- 二十五人学級の導入
- 高等学校における道徳教育
- 甲府工業高等学校全日制専攻科の開設に向けた取り組み
- 富士山噴火への対策
- SNS利用の危険性と対策

一般質問



石井 脩徳 (自民党誠心会)

- 医師確保対策
- 山村地域の防災・減災対策
- 上野原市内の下川砂防堰堤の整備
- 小中学校における防災教育
- 企業の働き方改革への支援
- 中央自動車道上野原以東の渋滞対策



望月 利樹 (チームやまなし)

- 救急医療体制の充実
- 動物殺処分ゼロに向けた取り組み
- 子どもの貧困対策
- 「サイクル王国やまなし」の実現
- 道の駅「富士川」への中部横断自動車道からの立ち寄り促進
- 国道三百号中之倉バイパスの整備
- 峡南地域の施設高校の開校に向けた取り組み



遠藤 浩 (自民党誠心会)

- 健康寿命の延伸に向けた取り組み
- 峡南地域の魅力づくりによる観光振興
- 県産材の安定供給に向けた体制整備
- 峡南地域の特色ある農産物の振興
- 芦川の河川改修
- 県道笛吹市川三郷線の整備
- 峡南地域の施設高校の開校に向けての準備状況
- 新町前遺跡における埋蔵文化財の発掘調査



乙黒 泰樹 (自民党誠心会)

- 県産ワインのブランド化の推進
- 醸造用ぶどうの高品質化に向けた取り組み
- JRR中央線の利便性向上
- 保育人材の確保と保育の質の向上
- 笛吹川フルーツ公園の今後の運営
- JRR中央線東山梨駅付近の跨線橋整備
- ICTを活用した教育の推進



水岸 富美男 (チームやまなし)

- 東京オリンピック・パラリンピック大会の事前合宿を生かした地域振興
- 女性の活躍推進に関する取り組み
- リニア見学センターの誘客の取り組みと都留市等との連携
- 多様な人材を活用した消防団員の確保
- 若者の起業・創業
- 景観づくりへの取り組み状況
- 水素エネルギー社会の実現に向けた米倉山における取り組み
- 郷土愛を育てる教育



小越 智子 (日本共産党)

- 知事政治姿勢
- 重度心身障害者医療費窓口無料の復活
- 国民健康保険
- 介護保険
- 子育て支援
- リニア建設を巡る問題
- 学校体育館へのエアコン設置
- 公共事業の入札
- 県政への県民参画

可決・同意された主な議案

- 山梨県県産木材利用促進条例制定の件
- 山梨県議会委員会条例改正の件
- 山梨県行政機関等の設置に関する条例等改正の件
- 山梨県の事務処理の特例に関する条例中改正の件
- 山梨県職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び山梨県学校職員の勤務時間等に関する条例改正の件
- 山梨県特別会計設置条例改正の件
- 山梨県土地収用手数料条例改正の件
- 山梨県市町村振興資金条例改正の件
- 山梨県民生委員定数条例改正の件
- 山梨県立育精福祉センター設置及び管理条例中改正の件
- 山梨県産業技術センター諸収入条例中改正の件
- 山梨県職業訓練に関する基準等を定める条例改正の件
- 平成三十一年度山梨県一般会計予算
- 公立大学法人山梨県立大学が徴収する料金の上限の変更の認可の件
- 平成三十年年度山梨県一般会計補正予算
- 山梨県部等設置条例及び山梨県防災会議条例改正の件
- 山梨県副知事の定数条例中改正の件
- 賀詞(天皇陛下御即位三十年慶祝)
- 地下水に着目した法定外税導入に関する政策提言
- 山梨県副知事の選任について同意を求めるの件
- 山梨県教育委員会教育長の任命について同意を求めるの件
- 山梨県監査委員の選任について同意を求めるの件

可決された意見書

- 幼児教育無償化に伴う国による財源措置等を求める意見書
- 議案等に対する議員別の賛否は、ホームページでご覧いただけます。

ホームページ、会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、お住まいの市町村役場等でもご覧いただけます。



<https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html>

議会の傍聴にお越しく下さい。県議会の本会議や委員会を傍聴することができます。詳しくは、県議会事務局議事調査課 (TEL 055-223-1813) までお問い合わせください。

公式 Facebook で情報発信しています。県議会では、公式Facebookページで議会活動の情報を発信しています。ぜひご覧ください。 <https://www.facebook.com/yamanashipref.gikai/>

委員会リポート

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、三月八日、十一日、十二日に平成三十一年度一般会計当初予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、三月十五日の本会議で、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

総務委員会



パリ・オペラ座エトワール招へい交流事業費補助金

問 パリ・オペラ座の最高位のダンサーであるエトワールを招へいしてバレエ公演を行うとのことだが、本県で行う公演の目的とその他の何かが。また、バレエ公演以外の企画はあるのか。

答 オリンピックはスポーツの祭典であると同時に文化の祭典でもあり、オリンピックの開催県として、文化芸術の振興や地域経済の活性化を図ることが目的である。また、パリ・オペラ座のエトワールが、地場産品で

ある郡内織物を活用した衣装を着用するところが公演の特徴である。この公演により、郡内織物のブランド価値の向上や国内外への高いPR効果が期待される。

地球環境問題対策費

問 温暖化対策として、家庭からの二酸化炭素排出量を測定することで削減に結びつけることを目的とした環境家計簿アプリ「えこメモ」は、大きな柱の一つであるが、加入促進への取り組み状況と継続して利用してもらう工夫はあるのか。

答 登録イベントの開催やリーフレットの配布を行い、登録を呼びかけるとともに、広報媒体として県政番組等を活用し周知した。また、取り組みに応じた



農政産業観光委員会



ポイント制度を設け、上位者には図書カード等をプレゼントしている。

明年度は、教育委員会と連携し、児童等を通して、家庭で使ってもらい、省エネや地球温暖化に対する理解を深めてもらうなど、さまざまな機会を捉え登録と利用を働きかけていく。

【その他の主な質問事項】
・山梨県の事務処理の特例に関する条例中改正の件
・被災者生活再建支援基金出資金
・斐崎警察署建設事業費

特別支援学校 冷房設備設置費

問 国の臨時特例交付金を活用し、特別支援学校の特別教室に冷房設備を整備することだが、設置する学校や教室をどのような基準で選定したのか。また、県立学校には整備しないのか。

答 選定に際しては、学校からの要望をもとに、体温調節が困難な児童生徒の身体の状態を考慮し、必要と認められるもの、また、国の臨時特例交付金の採択要件や、明年度中に確実に整備が完了すること等を勘案した。

県立学校については、県議会における質疑や、高校生議会での冷房設備の設置要望を受け、昨年実施した学校への要望調査や、室温等の現地調査をもとに、さらなる冷房設備の整備推進に向け、現在の具体的な検討を行っている。

【その他の主な質問事項】
・統合型校務支援システム構築及び運用についての委託契約締結に関する債務負担行為
・保育人材確保・定着促進事業費

統合一級河川整備事業費

問 国の防災・減災、国土強靱化対策に伴う補正のことだが、当該事業で実施する内容はどのようなものか。また、今回の補正により、進捗がどのように図られるのか。

答 河川内の樹木の伐採及び堆積した土砂の浚渫などを行う事業であり、防災・減災の観点から、県単独費による平成二十九年度の補正事業に引き続き、本年度から五カ年計画で実施している。今回の補正により、

国からの補助が見込めることから、二年前倒しして、終了できる見通しとなった。

【その他の主な質問事項】
・山梨県土地収用手数料条例中改正の件
・山梨県建築基準法施行条例中改正の件
・山梨県森林総合研究所手数料条例及び山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例中改正の件
・流域下水道の維持管理に要する費用の市町村負担の件

教育厚生委員会



委員長 桜本 広樹
・山梨県立育福社センター設置及び管理条例中改正の件

土木森林環境委員会



委員長 大柴 邦彦
・平成三十年年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算

議員発議による 条例及び政策提言を可決

議員発議による「山梨県産木材利用促進条例」と「地下水に着目した法定外税導入に関する政策提言」を、二月定例会において、可決しました。この条例と政策提言は、昨年四月から山梨県産木材利用促進条例案作成委員会（鈴木幹夫委員長）及びミネラルウォーター税導入に関する政策提言案作成委員会（皆川巖委員長）において、調査・検討を進めてきました。可決後、正副議長と各条例案等作成委員会の正副委員長が長崎知事に条例と政策提言を手渡し、政策への十分な反映を求めました。



知事室にて正副議長と、各条例案等作成委員会の正副委員長が、長崎知事に条例と政策提言を手交

がん対策推進県議会議員連盟研究委員会

がん対策推進県議会議員連盟研究委員会（鈴木幹夫委員長）は、玉穂ふれあい診療所（中央市）を訪れ、がんにおける緩和ケアやホスピスの取り組み等について調査しました。また、その後、県議会議事堂において、山梨まんまくらぶ代表及びNPO法人がんフォーラム山梨理事長の若尾直子氏をお招きし、「がん」と共にその人らしく生きる事ができる山梨県」をテーマに講演をいただきました。



玉穂ふれあい診療所にて施設の説明を受ける委員

おもてなし推進週間街頭キャンペーン



甲府駅にて街頭キャンペーンに参加する議員

山梨活性化促進県議会議員連盟（河西敏郎会長）は、おもてなし推進週間街頭キャンペーンに参加しました。早朝の甲府駅前で行われたキャンペーンでは、やまなし女将の会の皆様も参加する中、行き交う方々に「おもてなし」を呼びかけました。

県議会を担う新しい議員

掲載は、上段より右から左へ当選告示の順。
経歴は、職業(前歴)、住所、学歴、年齢、
立候補時の党派、現・元・新、当選回数(回数)の順。

※年齢は平成三十一年四月二十九日現在

平成三十一年四月七日に行われた県議会議員一般選挙で当選した三十七人。任期は四月三十日から四年間。



遠藤 浩
会社役員(県議会総務委員長、同教育厚生委員長、市川三郷町市川大門二二七四、日本大卒、57歳、自由民主党、現③)



望月 勝
県議(県議会議長、同決算特別委員長、県監査委員、南部町議会議長、富沢町議会議長)南部町福士二六四三一一、東京農大卒、73歳、自由民主党、現④



望月 利樹
会社役員、県綱引連盟理事、富士川町休協サツカ一部顧問(白根高校同窓会長、増穂町議)富川町青柳町一一一、山梨学院大学院修了、50歳、国民民主党、現③



鷹野 一雄
農業(昭和町議)昭和町河東中島一九三二、日本大卒、58歳、無所属、新①



白壁 賢一
県議(県議会議長、同予算特別委員長、県監査委員、富士河口湖町議会議長)富士河口湖町船津一五〇五、中央工学校卒、58歳、自由民主党、現④



流石 恭史
会社役員(富士河口湖町議)富士河口湖町船津三三四八、法政大卒、59歳、無所属、新①



向山 憲稔
無職(甲府市議、新聞記者)甲府市大里町二〇五一、明治大卒、34歳、無所属、新①



佐野 弘仁
党県本部幹事長(甲府市議)甲府市伊勢二二一五二六、山梨学院大学院修了、55歳、公明党、新①



臼井 友基
団体職員、県老人福祉施設協議会副会長、甲府市下飯田四一三四、専修大卒、42歳、無所属、新①



永井 学
会社役員、県ドッジボール協会会長、県議会農政産業観光委員長(県議会総務委員長)甲府市北新一一八九、國學院大卒、44歳、自由民主党、現③



飯島 修
県議、党県連幹事長、保護司(県議会総務委員長、同土木森林環境委員長、国会議員政策担当秘書)甲府市大手一一三三四、慶應義塾大卒、64歳、立憲民主党、現③



土橋 亨
会社役員、県臓器移植推進財団理事長(県議会副議長)甲府市善光寺三三四二七、甲府商業高卒、66歳、無所属、現④



宮本 秀憲
会社役員(県議会総務副委員長、同教育厚生副委員長、外務副大臣秘書)甲府市国母六一二二三、早稲田大卒、40歳、自由民主党、現②



小越 智子
政党役員、党県委員(甲府共立病院)ケースワーカー、甲府市議)甲府市善光寺三二二一七、日本福祉大卒、55歳、日本共産党、現④



皆川 巖
県議(県水泳連盟会長)県議会議長、同議会運営委員長、県監査委員、党県連幹事長)甲府市丸の内三二六二、日本大卒、74歳、自由民主党、現⑦



渡辺 淳也
会社役員、県議会総務副委員長(県議会土木森林環境副委員長)富士吉田市下吉田九一三七一五二〇一、法政大卒、40歳、自由民主党、現②



早川 浩
県議(県議会土木森林環境委員長、衆議院議員公設第一秘書、銀行員)富士吉田市松山一一二二二、明治大卒、50歳、無所属、現③



杉山 肇
会社役員、県監査委員(県議会土木森林環境委員長、都留市議)都留市大幡一一〇、日本大卒、59歳、自由民主党、現③



水岸 富美男
会社役員、県議会総務委員長(県議会予算特別副委員長、都留市議会議長)都留市境一二五、東京工科専門学校卒、55歳、自由民主党、現③



古屋 雅夫
県議(山梨市議)山梨市七日市場八一六一七、塩山商業高卒、64歳、無所属、現②



乙黒 泰樹
会社役員、県議会農政産業観光副委員長(山梨市議)山梨市上神内川一四四三三、中央大卒、46歳、自由民主党、現②



卯月 政人
県議、大月市空手道連盟理事長(県議会議会運営副委員長、大月市議)大月市猿橋町桂台一一〇一一、山梨学院大学院修了、56歳、無所属、現②



山田 七穂
会社役員、葦崎市商工会理事(県議会教育厚生副委員長、同土木森林環境副委員長)葦崎市本町一一一一、東北工業大卒、51歳、無所属、現②



桜本 広樹
NPO法人理事長、県議会教育厚生委員長(県議会農政産業観光委員長、同人口減少対策政策委員長)南アルプス市小笠原一三二八三、東洋大卒、57歳、自由民主党、現③



藤本 好彦
農業(南アルプス市議、高校教諭)南アルプス市秋山六六三、東京農大大学院修了、39歳、無所属、新①



久保田 松幸
会社役員(県議会副議長、南アルプス市議会議長、県市議会議長)南アルプス市上今諏訪四三七、増穂商業高卒、68歳、無所属、現③



浅川 力三
ホテル経営、ポール・ラツシュの会長、県目撃車競技連盟会長、北杜市観光協会会長、北杜市同窓会会長、北杜市高根町清里三五五六、昭和薬科大卒、71歳、自由民主党、現⑤



大柴 邦彦
県議、県議会土木森林環境委員長(県議会農政産業観光委員長、県監査委員)北杜市明野町小笠原三三二四、亜細亜大卒、60歳、自由民主党、現③



山田 一功
税理士、社会福祉法人理事、県監査委員(県議会教育厚生委員長、県PTA協議会会長)甲斐市宇津谷一〇〇八、法政大卒、59歳、自由民主党、現③



猪股 尚彦
県議(県議会総務副委員長、同農政産業観光副委員長、甲斐市議会議長)甲斐市長塚三五〇一一、甲府商業高卒、63歳、自由民主党、現②



杉原 清仁
無職(衆議院議員秘書)笛吹市石和町山崎一三二二一五八、明治大卒、46歳、無所属、新①



志村 直毅
農業(笛吹市議、同市農業委員、同市体育指導委員)笛吹市石和町東油川一七二、山梨学院大学院修了、49歳、無所属、新①



大久保 俊雄
会社役員、県旅行業協会会長(笛吹市議会議長、同市監査委員、笛吹青年会議所理事長)笛吹市石和町市部七二八、千葉大卒、57歳、無所属、新①



市川 正末
会社役員(上野原市職員)上野原市大柵七九九、帝京大卒、63歳、無所属、新①



鈴木 幹夫
会社役員、県立農業大学校同窓会長(県議会議長、県監査委員)甲州市塩山下塩後六二七、県立農業大学校卒、67歳、自由民主党、現⑤



河西 敏郎
県議、県議会議長、中央市社会福祉協議会会長(県議会議長、同決算特別委員長、玉穂町長)中央市成島二三三三、甲府商業高卒、69歳、自由民主党、現④



清水 喜美男
県議、環境省認定環境カウンセラー、県議会教育厚生副委員長、甲斐市竜王新町二五一、山梨大卒、71歳、無所属、現②